

あかちん!



明るく気さくな店主の嶋原さん

【世田谷・タイル・勝呂高也通信員】環七の上馬の交差点から大原方面へ50mの所にある「そば蔵」は地元で評判

そば蔵
世田谷店
駒沢大学駅 徒歩7分

赤ちん!

(649)



んで賑わっています。

世田谷支部からも徒歩7分と近い所から、会議の終了後によく行っています。そば焼酎のそば湯割りもよく飲ま

途切れなく賑わう店 会議後のそば湯割りが人気

平日の昼間は主にランチで、季節に合わせたメニューも従業員達が考えていて、夜は

- 生ビール・プレモル(グラス) 300円
- プレモル(中瓶) 500円
- 各種サワー 400円
- 焼酎のそば湯割り、そば茶割り、ロック 各500円
- 信州の地酒 650円
- 刺身各種 500円
- てんぷら各種 500円
- 焼き魚各種 600円
- 串焼き各種一本 150円
- ほんのこく一部です。

している楽しいお店です。

店主の嶋原(しぎはら)孝子さんは明るく気さくな人柄ですが、写真が苦手というこ

とで厨房の入口に立ってもらって遠くから撮影しました。

〈メニュー〉

私は現在、野丁場のとび職をしています。21歳から始めて今年で24年目。しかし、はじめから野丁場ではなく、町場のとび職で働き始めました。



とび 金子寿道

道具はパートナー 町場で頭に学んだこと

ブロック積みや舗装工事、祭の支度や年末の飾り、門松など言い出したらキリが無いくらい色々な仕事をしました。その時にお世話になった頭(親方)は、とても厳しい人でした。仕事終わりに土工事で使った道具の汚れが残っていると、怒られて洗い直す事もありました。型枠で使ったコンパネなども、釘仕舞いをして毎回持ち帰りました。

そんな厳しい頭の元で、修業をして野丁場へ移った時は、その違いに戸惑いを感じ

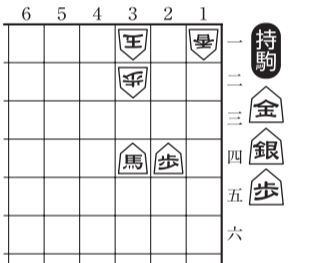
忘れえぬ町

存分小説が書けるようになる予想し、人が感動するものを書きたいと望んでいたが、みごとに裏切られてしまう。

工場の仕事に追われていたころは、時間をやりくりしながら取材して書き、とても緊張感があったが、時間ができてからは緊張感を失い、1年に1冊書くのがやっとになってしまった。

小関はペンもまぶたも重くなったと嘆いた。

詰将棋



チヨット一服(962)

節分に食べる福を呼ぶという恵方巻が売れ残り、大量に破棄されている。その一方で、昨年実績で恵方巻を作る



オデッセイ

リドリー・スコット 監督

新宇宙時代の極限サバイバル

2016年2月に日本で公開された『オデッセイ』は、そんなこれまでの映画とは一線を画した、火星への有人飛行が現実化しつつある時代に相応しい映画だ。『エアリアン』や『プロメテウス』などを世に送りだしてきたリドリー・スコット監督の作品だが、今回迎え撃つ敵は不気味な未知の生命体ではなく、厳しく過酷な火星の環境。ある意味それはおどろおどろしい怪物よりも恐ろしい存在だ。

アメリカの民間宇宙企業スペースX社による巨大ロケット・ファルコンヘビーが、米東部時間の今月6日に、フロリダ州のNASAケネディ宇宙センターから火星に向けて打ち上げられた。搭載された同社CEOの所有の真つ赤なロードスター1は、半年間で約3億2千kmを飛行して火星軌道を目指すという。

『カプリコン・1』『ドクターリコール』『ミッシェン・トゥ・マー』など、火星を題材にした映画はこれまでも数多く作られてきた。でも、そのほとんどが未来の夢物語として描かれているように思う。

2016年2月に日本で公開された『オデッセイ』は、そんなこれまでの映画とは一線を画した、火星への有人飛行が現実化しつつある時代に相応しい映画だ。『エアリアン』や『プロメテウス』などを世に送りだしてきたリドリー・スコット監督の作品だが、今回迎え撃つ敵は不気味な未知の生命体ではなく、厳しく過酷な火星の環境。ある意味それはおどろおどろしい怪物よりも恐ろしい存在だ。

マット・デイモン演ずる宇宙飛行士のマーク・ワトニーは、火星への有人探査計画に参加するが、火星での探査中に大砂嵐に遭い仲間とはぐれてしまう。マークを死にたてた判断したチームは、火星を離れ地球へ戻る。独り火星に取り残されたマークは、限られた食料のみで、4年後の救出まで生き延びる決意をするが...

NASAが全面協力したリアルで壮大なストーリーと映像は必見。映画の中で、公開直前に亡くなったデビッド・ボウイの『スターマン』が流れるシーンも感慨深いものがある。

DVD ブルーレイ

